

Experiential Architecture Laboratory

名古屋工業大学工学部社会開発工学教育類

建築設計製図3(3年後期)後半 担当 郡 裕美

課題概要

Experiential Architecture Laboratory (E.A.L.)を設計する。

E.A.L.は、来館者が様々な建築空間を体験できる施設である。新しいタイプの建築美術館、あるいは、建築空間実験施設といってもよい。この施設が提供する様々な空間体験を通じて、建築が人の空間認識、時間認識に与える影響や、建築の意味そのものを来館者が再考し、建築の可能性について考察することを目的とする。

建築は、期待される機能を満たすだけでなく、人間と自然、人間と社会の間に在って、人間の自然に対する感じ方や、自然との共存の仕方、社会との関係のあり方に関与する。また、建築は、視覚、聴覚、臭覚、触感などを通じて、体験者それぞれに個別に認識、経験されるものである。同じ広さの空間でも、壁の素材や色、窓から見える風景の有無、光の入り方や風の流れ、湿度や気温などの違いによって、全く違った空間に感じられ、ひいては、そこで過ごす時間の長さまでも違って感じられる。建築は、空間感覚、時間感覚など、人間の存在そのものに影響を与えるものである。

建築の様々な側面を考慮に入れ、一般の人々が体験を通して楽しみながら建築に対する理解を深め、建築の新たな可能性を見いだすことができる体験型施設として、Experiential Architecture Laboratory (E.A.L.) を提案してほしい。既成概念にとらわれない、斬新なアイデアを期待する。

設計条件

＜敷地＞

白川公園の一角に建設することを想定する。場所は、自由に設定して良い。既存の公園内通路を利用または経路変更可。新たに通路を設ける提案も可。既存の名古屋市美術館、科学館は、現状のままとする。

＜規模＞

建物と庭などの外部空間を含めて30m×30m×30mの立方体のボリュームに収めること。（地下がある場合は、地下部分も含む）

＜構造＞

自由。ただし、著しく現実性のないものは不可。

＜所要室＞

●事務室、更衣室、便所、倉庫

●レストラン、カフェ、ラウンジ、ライブラリー、利用者用便所

その他、宿泊施設、浴場、展望台、瞑想室、中庭、テラス、屋上など、コンセプトに応じて所要室を追加設定しても良い。

これらは、独立した部屋でも連続した空間でもよい。

●空間体験コーナー

コンセプトに応じて広さは自由に設定、上記の所要室と兼ねてもよい。

＜その他の施設等＞

駐車場、駐輪場、ゴミ置き場等は、別の場所に設けるものとし、今回の計画では考慮しなくても良い。

＜その他＞

建築基準法など、法律的な規制は考慮に入れなくて良い。ただし、公共に使われる建築として、機能性、安全性などを考慮した、使用可能な建物とする。

最終要求図面等

＜要求図面＞

A1 用紙4枚以内(必要に応じて5枚以上とすることも可。担当教員の許可を得ること。)に、以下のものを配置すること。紙の種類や着色など表現方法は自由。ただし、自らの設計コンセプトに適した表現とすること。

1)案内図(1/1500 程度)

公園全体図及び周辺道路との関係を示す図の中に、想定敷地を入れ込む。

2)配置図及び1階平面図(1/100)、各階平面図(1/100)

方位。必要に応じて配置図に周辺道路や公園内の通路、既存建物などを入れる。

建築物の主要寸法(柱心、壁心など、建物全体及び各室の大きさを把握するのに必要な寸法。)

3)立面図(1/100)

4)断面図(1/100)

建築物の主要寸法(全体の高さ及び各階高の高さ、各部屋の天井高を表す寸法。)

5)パース(着色は適宜。模型写真でも可。)

各空間体験コーナー(5面以上)。

外観1面以上。

6)その他

—全体コンセプト説明文 1000 字以内

—建築空間体験のコンセプトを説明する図面、スケッチ。

＜模型＞

模型(1/100)。

設計意図を表すのに最も適した製作方法を選定すること。

材料は自由。ただし、持ち運びに耐えられるもの。

エスキースチェック時の提出物

* 提出物は、原本でなく、コピーをとって提出してください。カラーのものは、カラーコピーまたは、カラープリントで提出してください。提出物には、それぞれ、必ず、氏名を記入してください。

1) 提案書草案(A3 サイズの紙 3 枚に表現)

- a.) コンセプト説明文草案。(建築には様々な要素がある。それらの中で、自分が特に重要だと思う建築の魅力を体験できる施設として、コンセプトをまとめる。)
- b.) 文章を補足する資料として、計画全体のコンセプトをビジュアルで説明するもの。
スケッチ、コラージュ、写真など表現方法は自由。
- c.) 各空間体験コーナーの平面、断面スケッチ、パースなど
空間の性質を表すラフスケッチ。(3種類以上)
- d.) 想定敷地がわかる図。(フリーハンド可)
公園全体図、周辺道路との関係を示す図のなかに、選んだ敷地を明記する。
- e.) 配置図及び各階平面、断面ゾーニング図(フリーハンド可)

中間チェック時の提出物

* 提出物は、原本でなく、コピーをとって提出してください。カラーのものは、カラーコピーまたは、カラープリントで提出してください。提出物には、それぞれ、必ず、氏名を記入してください。

1) 各空間体験コーナーのコンセプトを説明するスタディ模型(1/100)

2) 提案書(A3 3 枚程度)

- a.) コンセプト説明文。(600字以内)
- b.) 模型写真(各空間体験コーナーを現すもの。最低5カット以上。)
模型写真だけで表現できない場合は、パースや詳細のスケッチを付加すること。
- c.) 配置図及び各階平面図(1/100)方位、周辺道路や公園内の通路、既存建物などを記入
- d.) 断面図(1/100)

敷地：白川公園の一角に想定する。

